

執筆者紹介

- ・藪田 貫 (やぶた・ゆたか)
兵庫県立歴史博物館長兼ひょうご歴史研究室長
- ・村上 泰樹 (むらかみ・やすき)
ひょうご歴史研究室協力研究員
- ・真鍋 成史 (まなべ・せいじ)
大阪府交野市教育委員会社会教育課長
(文化財担当)
- ・土佐 雅彦 (とさ・まさひこ)
ひょうご歴史研究室客員研究員
- ・田路 正幸 (とうじ・まさゆき)
ひょうご歴史研究室共同研究員
宍粟市教育委員会社会教育文化財課専門員
- ・永恵 裕和 (ながえ・ひろかず)
ひょうご歴史研究室研究員
兵庫県立考古博物館主査
- ・藤田 淳 (ふじた・きよし)
ひょうご歴史研究室研究員
兵庫県立考古博物館社会教育推進専門員
- ・坂江 渉 (さかえ・わたる)
ひょうご歴史研究室研究コーディネーター
書家、神戸大学名誉教授、孫文記念館長
- ・魚住 和晃 (うおずみ・かずあき)
ひょうご歴史研究室共同研究員
兵庫県企画部地域振興課主任
- ・加納亜由子 (かのう・あゆこ)
ひょうご歴史研究室共同研究員
(兵庫県立兵庫津ミュージアム)

編集後記

平成二七年(二〇一五)の開設以来、その年の研究成果を『ひょうご歴史研究室』に毎年刊行することができ、本年度で第九号になりました。第九号では、「ひょうごのたたら製鉄」という特集を組みました。これは、たたら製鉄研究班の九年間の研究成果を集大成したものです。文献史学と考古学の二つの立場にもとづく、特色ある論考が出揃いました。出雲国や石見国との比較研究などを通じて、播磨国を中心とする兵庫県内のたたら製鉄研究は、かなり進捗した感があります。ここで組織的な研究を終えることは誠に残念ですが、当班も今年度末に解散することになりました。残された課題については、本特集の各論文で触れられています。

ただし来年度以降も、当班が取り組んできた「たたら製鉄入門解説書」作りの企画は持続されます。また大阪湾岸と淡路の地域史研究班と「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクトも継続されます。今後ともどうか宜しくお願い申し上げます。

(坂江渉)

ひょうご歴史研究室紀要 第九号

令和六年(二〇二四)三月二十九日発行

編集・発行 兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室

(編集担当・坂江渉、長澤喜史)

〒六七〇〇〇二 兵庫県姫路市本町六八番地

電話 〇七九二八八九〇一一

HP <https://rekihaku.pref.hyogo.lg.jp/laboratory/>

印刷 刷合名会社 柳生印刷所

〒六七一一五六 兵庫県揖保郡太子町鶴五六八

電話 〇七九二七六〇〇四八